

第4学年 国語科学習指導案

日 時 平成26年〇月〇日（〇）〇校時
 対 象 第4学年 〇組 〇〇名
 学校名 〇〇立〇〇小学校
 授業者 〇〇 〇〇

1 単元名 説明の筋道をたどろう

「アーチ橋の進歩」（教育出版4年上）

2 単元の目標

「アーチ橋の進歩」を要点や細かい点に注意しながら読んで、アーチ橋の原理や作り方の発展の過程を読み取る。

3 単元の評価規準

	ア 国語への関心・意欲・態度	イ 読む能力	ウ 言語についての知識・理解・技能
単元の評価規準	アーチ橋の進歩に興味・関心を持ち、内容を読もうとしている。	中心となる語や文をとらえ、段落相互の関係、要点や細かい点に注意して読み、アーチ橋の原理や作り方の発展の過程を読んでいる。	接続語などを手掛かりに、文章全体における段落の役割を理解している。
学習活動に即した具体的な評価規準	① アーチ橋の進歩に興味・関心を持ち、アーチ橋の原理や作り方の発展の過程を読み取ろうとしている。	① 問いの文や中心となる語（橋、石、鉄やコンクリート）を捉えながら、段落相互の関係を考え、文章を読んでいる。 ② 語や文のつながりをおさえ、問いの文に対する答えが書かれている段落をつかみながら文章を読んでいる。	① 文中に出てくる語句（せいしつ、産業、発達、加工、長所）を目的に合った辞書などで調べている。 ② 指示語や接続語のはたらきに気を付けて、段落相互の関係を理解している。

4 単元について

本単元は、小学校学習指導要領 国語〔第3学年及び第4学年〕の「C 読むこと」の目標「目的に応じ、内容の中心をとらえたり段落相互の関係を考えたりしながら読む能力を身に付けさせるとともに、幅広く読書しようとする態度を育てる。」に基づき、指導事項「イ 目的に応じて、中心となる語や文をとらえて段落相互の関係や事実と意見との関係を考え、文章を読むこと。」「エ 目的や必要に応じて、文章の要点や細かい点に注意しながら読み、文章などを引用したり要約したりすること。」を受けて設定されている。

説明的文章の学習で付けたい力は、筆者が伝えたいことを正確に理解する読解力、筆者の考えについて自分の考えをもつ力である。

「アーチ橋の進歩」は「アーチが橋に使われるのはなぜか」「アーチの性質を利用してどのように

橋をつくってきたのか」という二つの問いを解明するかたちで展開している。こうした文章の展開に基づいて学習し、論理的思考力を育てていく。

低学年の説明文教材は、一つの問いに対して一つの答えがある。そうすることで、説明が完了する場合が多い。しかし、説明しようとする事柄が複雑になれば、そうはいかない。一つの問いを解明したことで、次の問いが生まれることがある。「アーチ橋の進歩」では、複数の問いを立てて、問題追究の筋道を明らかにし、やや複雑な構造の説明もできるような表現力を育てていきたい。

5 教材について

「アーチ橋の進歩」は題材に身近な橋を取り上げているが、アーチ橋というものを知らない児童もいるため「身近にあるものだけど知らないもの」について興味をもって学習に取り組める。また、挿絵や写真が多く使われていて読みやすい。本文は段落ごとの要点が明確に整理されていて、「まず」、「次に」、「このように」、「そのため」などの接続語が適切に使われているため、段落相互の関係を捉えやすい。

本教材では前半部分・後半部分のそれぞれの冒頭におかれている「アーチが橋に使われるのはなぜか」、「アーチの性質を利用してどのように橋をつくってきたのか」という課題提示文に即して、段落相互の関係に注意して、その課題の解明過程を読み取っていく。児童は、実際の実験や図解・写真例によって、理解を深める。先人たちの橋への様々な知恵と工夫に触れ、現代においてもそれが受け継がれていることを読み取れるようにしたい。

6 単元の指導計画と評価計画（全6時間/本時は2時間目）

時	学習内容・学習活動	学習活動に即した具体的な評価規準 (評価方法)
1	<ul style="list-style-type: none"> 教材文全体を読み、形式段落に番号をつける。 文章の区切りに注目して全体が三つの意味段落になっていることを理解する。 語句の意味調べをする。 二つの問いを見つけ、学習計画を立てる。 学習を振り返って自分の考えを書く。 	<ul style="list-style-type: none"> 文中に出てくる語句（せいしつ、産業、発達、加工、長所）を辞書で調べている。（観察） 自分の考えを書いている。（ノート）
2 本 時	<ul style="list-style-type: none"> 問いの文を確認する。 実験の準備物と手順、結果を理解する。実際に実験する際に比較すべき点を確認する。 実験の映像を見て結果を確認・記録し、教材本文と照合する。 第1の問いの答えを見つける。 	<ul style="list-style-type: none"> 接続語や指示語、中心となる語や文に着目して、問いの答えを書いている。（ノート）
3	<ul style="list-style-type: none"> 問いの文を確認する。 意味段落を前後二つに分ける。 最初の橋の形状、短所をまとめる。 石のアーチ橋の組み立て方法、長所を読み取る。 次時でアーチ橋の短所が克服された進歩を読み取ることを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> 接続語や指示語、中心となる語や文に着目して、石のアーチ橋の組み立て方法や長所を書いている。（ノート）

4	<ul style="list-style-type: none"> 石を使って、長いアーチ橋が重みでうまくつくることができない筋道を理解する。 石のアーチ橋の短所が克服され、鉄やコンクリートのアーチ橋に進歩した過程をまとめる。 第2の問いの答えを見つける。 	<ul style="list-style-type: none"> 要点や細かい点に注意しながら読み、段落相互の関係を考え、アーチ橋の進歩をまとめて、問いの答えを書いている。(ノート)
5	<ul style="list-style-type: none"> 全文を読み、これまでの内容を確認し、筆者の考えをまとめる。 橋以外にもアーチが使われていることを理解し、昔からのちえが活かされていることに気付く。 アーチが使われている身近な例を見付ける。 次時で文章構成図を作ることを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> これまでの内容を振り返り、筆者の考えを読み取り、自分の考えを書いている。(発言・ノート)
6	<ul style="list-style-type: none"> 筆者の説明の筋道が分かるように三つの意味段落に小見出しを付ける。 小見出しを基に、文章全体の構成を考えて、文章構成図にまとめる。 筆者の考えに対する自分の考えを書く。 	<ul style="list-style-type: none"> 段落相互の関係を考え、小見出しを付けている。(ノート) 自分の考えを書いている。(ノート)

7 本時 (2/6 時間)

(1) 本時の目標 (ねらい)

説明の筋道をたどりながら、アーチが橋の組み立てに使われている理由を理解する。

(2) 本時の展開

分	学習活動	指導の流れ ・ 主な発問	● 留意事項 ○ 評価規準 (評価方法)
5	1 前時で見付けた第1の問いを確認し、本時の目あてを確認する。	・ 前の時間に見付けた第1の問いの答えを読み取りましょう。	● ③段落が問いの文になっていることを確認し、めあてを理解させる。
	アーチが橋の組み立てに使われている理由を、読み取ろう。		
	2 アーチ橋とはどんな橋か振り返る。		● 写真を見せ、アーチ橋の特徴を理解させる。
35	3 ③～⑦段落を音読する。		● 実験のために準備するものや、実験の順序を考えながら音読をさせる。
	4 ④～⑤段落から順序を表す言葉を四角で囲む。 まず そして すると 次に	・ 4、5段落を読んで、順序を表す言葉を四角で囲みましょう。	● 順序を表す接続語や指示語を見つけ、四角で囲ませる。
	5 ④段落の文にサイドラインを引き、アーチがない場合の実験結果を読み取る。 ・ <u>板目紙をかけたして</u>	・ 実験の手順と結果が分かる文にサイドラインを引きましょう。	● 実験の準備物を丸で囲み、手順を直線、結果を波線で書くようにする。 ● サイドラインが引けない児童には、写真を見せ、文と

	<p>・「橋」はたちまち落ちてしまいます。</p> <p>6 ⑤段落の文にサイドラインを引き、アーチがある場合の実験結果を読み取る。</p> <p>・反らせてアーチの形にして</p> <p>・「橋」はびくともしません。</p> <p>7 ⑥段落は④⑤段落の結果のまとめが書かれていることを知り、段落のつながりに気付く。</p> <p>8 「アーチが橋の組み立てに使われているのはなぜか。」の問いに対する答えを書き、交流する。</p> <p>9 実際に実験をした映像を見て、アーチが重いものを支えるのに適しているという性質を確認する。</p>	<p>・⑥段落には何が書かれているでしょう。</p> <p>・ 問いの答えは何段落に書かれていますか。ノートに書きましょう。</p>	<p>照らし合わせて考えさせるようにする。</p> <p>●⑦段落が、「このように」という言葉から、結論の文であることを捉えさせる。</p> <p>○問いに対する答えをまとめている。(ノート)</p> <p>●何段落に書かれているか、隣の人と話し合う。</p> <p>●実験を行っている映像を見せて、アーチの性質を確認させる。</p>
5	<p>10 本時の学習を振り返り、第2意味段落を読む。</p> <p>11 振り返りを書く。</p>	<p>・ 今日の学習の振り返りをしましょう。</p>	<p>●目あてに対する自分の取組を振り返らせる。</p>

(3) 板書計画

